

グローバル学部 日本語コミュニケーション学科

2017年度入学生カリキュラム

＜目次＞

◆ディプロマ・ポリシー（DP）/カリキュラム・ポリシー（CP）

学位授与の基本的な考え方として、卒業までに修得すべき専門知識や能力、到達目標を示したもの（DP）。各学科におけるDPを到達するためのカリキュラム編成を示した基本的な考え方（CP）。

◆カリキュラムマップ

武蔵野BASIS（全学共通基礎課程）および学科の科目を科目のレベルや学問分野ごとに体系化した図。

◆卒業所要単位表

学修の手引きに記載している「卒業の要件」のひとつである、卒業までに必要となる科目や単位について一覧化した表。必修科目や指定された科目群の単位を1単位でも未修得の場合卒業要件に抵触することとなる。
※進級基準科目（進級するために単位の修得が必要な科目）についてもあわせて確認すること。

◆開講表【武蔵野BASIS】

武蔵野BASIS（全学共通基礎課程）の開講科目一覧。
履修条件欄や備考欄に履修における注意事項が記載されている場合があるので、必ず確認すること。
なお、科目の内容や履修条件の詳細については、シラバスを確認すること。
※開講科目の名称は課程年度（入学年度）により変更となる場合があるため、科目の名称変更と対応関係については最新の開講表を確認すること。

◆開講表【学科科目】

学科科目の開講科目一覧。
履修条件欄や備考欄に履修における注意事項が記載されている場合があるので、必ず確認すること。
なお、科目の内容や履修条件の詳細については、シラバスを確認すること。
※開講科目の名称は課程年度（入学年度）により変更となる場合があるため、科目の名称変更と対応関係については最新の開講表を確認すること。

◆履修モデル

将来の進路や目的に沿って、学科が推奨する学びの分野に応じた代表的な履修例。
卒業の要件を満たせることを保証をするものではないため、履修計画を立てる際には必ず開講表や卒業所要単位表、学修の手引きを確認すること。

◆成果に基づく単位認定

「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

«付録：卒業所要単位表・開講表の見方»

日本語コミュニケーション学科（2016・2017年度入学生）カリキュラム・ポリシー

1年次では、武蔵野 BASIS に基づく建学、セルフディベロップメント、コンピュータ基礎、日本語リテラシーなどの全学共通科目と、専門科目として、必修の異文化コミュニケーション、学科の基礎的な内容を学ぶ基礎ゼミなどで初年次に必要な教育を身につけます。

2年次以降は、基礎ゼミから縦断的につながる2年のプレゼン、そして、3・4年のゼミナールを経て、4年次の卒業論文執筆まで、問題発見解決能力や論理的思考を養う体系的なアカデミック・ジャパンーズ科目が配置されています。あわせて、日本語教員養成、ビジネス日本語、サブカルチャーを柱に専門性を高める科目が揃っています。1年次より各自のポートフォリオを作成、ゼミ教員がアドバイザーとなっているので、各自の学びが順調に進んでいるか、将来の進路や計画が見えてきているかを定期的に面談を設けて確認していきます。4年間で多くの能力を身につけ、卒業後、希望する就職、進学に至るよう、支援もしていきます。日本語を母語とする学生の希望者は在学中の長期短期の留学により、外国語能力、異文化コミュニケーション、多文化共生力を高めます。

知識・専門性：学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

先端的な日本語教育を実践できる【日本語教育の専門性】

日本語を使って母国と日本をつなぐ仕事を行うことができる【留学生:ビジネス日本語の専門性】

専門的な分野を学ぶための基礎学力を養うために、「武蔵野BASIS」では、「心からだ」「学問を学ぶための基礎」「外国語」「自己理解・他者理解」の4つの分野をバランスよく配置し、少人数制のゼミナールや授業を通してグループワークやプレゼンテーションなどの訓練を重ね、より実践的なコミュニケーション力やチームワーク形成力を養います。教養を深めるため、「基礎セルフディベロップメント」では学部・学科の枠を越えたグループワークで、哲学、現代学、数理学、世界文学、社会学、地球学、歴史学の7テーマ群を学びます。専門科目の基礎ゼミで学科に必要な基礎学力を身につけます。

外国語科目において、英語、中国語、日本語の総合的能力を高めます。「異文化コミュニケーション」において、コミュニケーションと異文化コミュニケーションについての理論と実践力を身につけます。日本語教員養成課程科目で、体系的に日本語教員としての専門的な理論と実践力を身につけます。ビジネス日本語科目で、ビジネスに対応できる高度な総合的日本語力を身につけます。日本語研究科目で、日本を発信するための知識と実践力を身につけます。縦断的なゼミ科目でアカデミック・リテラシーを高めます。

関心・態度・人格：他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

自ら他者や社会との関わりのなかで捉え、多様な価値観を認めるができる【自己認識力・他者理解力】

グローバルな視野で日本語コミュニケーションに関する課題を発見することができる【課題発見力】

積極的に社会に働きかけて、最後まで行動していくことができる【主体性・実行力・ストレスコントロール力】

地球規模で広く物事を見、考えることを通して、様々な発信ができる【人格形成・使命感】

インターンシップを通し、企業や社会を体験することで、自己認識、他者認識を高めます。日本語教育実習を通し、異文化を持つ学習者に日本語を教えることで多様な価値観を認める力を養います。基礎ゼミ、プレゼン、ゼミと、縦断的な体系で課題発見解決能力を身につけます。日本語教育実習や、異文化コミュニケーションやグローバルプロジェクトをはじめとする、プロジェクト型学習を通し、学外とのインターアクションを行うことで社会に対する実行力、ストレスコントロール力を身につけます。異文化コミュニケーション、グローバルプロジェクトなどで、地球規模で物事を見、考え、発信する力を身につけます。

思考・判断：課題を多角的に捉え、創造的に考える力

自ら積極的に情報収集を行い、問題に対して論理的に思考し、多角的に判断できる【情報分析・論理的思考・判断力】

自らテーマを発見し、仮説を立てながら、調査、分析し、課題を解決できる【課題解決力】

制約された条件に対応した解答を思考できる【創造的思考力】

基礎ゼミ、プレゼン、ゼミと、縦断的な体系で課題発見解決能力を身につけます。あわせて、卒業論文執筆のプロセスで論理的思考を養います。日本語教育実習では、授業を展開する上で様々な判断力が養われます。異文化コミュニケーション、グローバルプロジェクトをはじめとするプロジェクト型授業でプロジェクトを達成することで創造的思考力を身につけます。

実践的スキル・表現：多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

日本語および外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる【語学力・コミュニケーション力】

自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、文書や、図解等を用いて論文や報告書にまとめて発表することができる【表現力】

他者の話を傾聴し、協働し、目標実現のために方向性を示し実行することができる【傾聴力・チームワーク・リーダーシップ】

外国語科目において、英語、中国語、日本語の総合的能力を高めます。ビジネス日本語科目において、ビジネスレベルの日本語力を身につけます（留学生）。「異文化コミュニケーション」において、コミュニケーションと異文化コミュニケーションについての理論と実践力を身につけます。基礎ゼミ、プレゼン、ゼミの縦断的な体系の課題発見解決のプロセスにより、自分の考えを明瞭かつ論理的に組み立て文書や図解などを用いてプレゼン、あわせて、卒業論文としてまとめて発表します。日本語教育実習では、授業を展開します。異文化コミュニケーション、グローバルプロジェクトなどのプロジェクト型授業ではリーダーシップ、チームワークも養われます。ゼミ活動においても、常に、リーダーシップやチームワークが養われます。

1年

2年

3・4年

<p>☆ SD 101 基礎セルフディベロップメント(リベラル・アーツ科)</p> <p>日本語リテラシー ☆ JL 101 日本語リテラシー</p> <p>外国語 応用 AL 101/102 英語資格・検定試験対策A/B AL 301/302 English for Studying Abroad 1/2 AL 311/312 International Lectures 1/2</p>	セルフディベロップメント科目				
	SD 201 芸術のすすめ SD 205 人間の心理を探る SD 209 現代メディアの探求 SD 213 哲学への探索 SD 221 ホスピタリティマインド概論	SD 202 数学的ものの考え方 SD 206 生命科学と人間 SD 210 社会情報と生活 SD 214 文化人類学への誘い SD 222 ホスピタリティマインド各論	SD 203 社会現象を分析する SD 207 市民の社会貢献 SD 211 日本の歴史 SD 215 文学を読み解く楽しみ SD 231 プレゼンテーション	SD 204 環境学への展望 SD 208 市民生活と権利を考える SD 212 外国の歴史	
	情報科目	CLT 211 情報分析力 1	CLT 212 情報分析力2	CLT 221 情報表現力 1	CLT 222 情報表現力 2
	建学	★ BDS 101 佛教概説	BDS 111 共生社会	BDS 201 しあわせを考える	
HPE 101 健康体育 1	★ HPE 111 自己の探求	★ HPE 112 人生の歩き方を考える (キャリアデザイン)	HPE 201 健康体育 2	HPE 211 オリンピック文化論	
フィールド・ワーク・スタディーズ科目	FW 101 フィールド・スタディーズ	FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4	FW 121/122/123/124/125 海外フィールド・スタディーズ1/2/3/4/5	インターンシップ科目	副専攻(サブ・メジャー)科目群
	INT 201 インターンシップ (事前研究)	INT 211/212/213/214 インターンシップ 1/2/3/4	INT 221/222/223 海外インターンシップ 1/2/3	SUBM 201 サブ・メジャー (ゼミナール)1	SUBM 311 サブ・メジャー (総合研究)1
寄付講座科目	EC 101 寄付講座1	EC 202 証券ビジネス論	EC 204 金融リテラシー (金融と人生設計)	EC 205 未来型都市とメディア	SUBM 202 サブ・メジャー (ゼミナール)2
					SUBM 312 サブ・メジャー (総合研究)2

☆ 必修(進級基準科目)

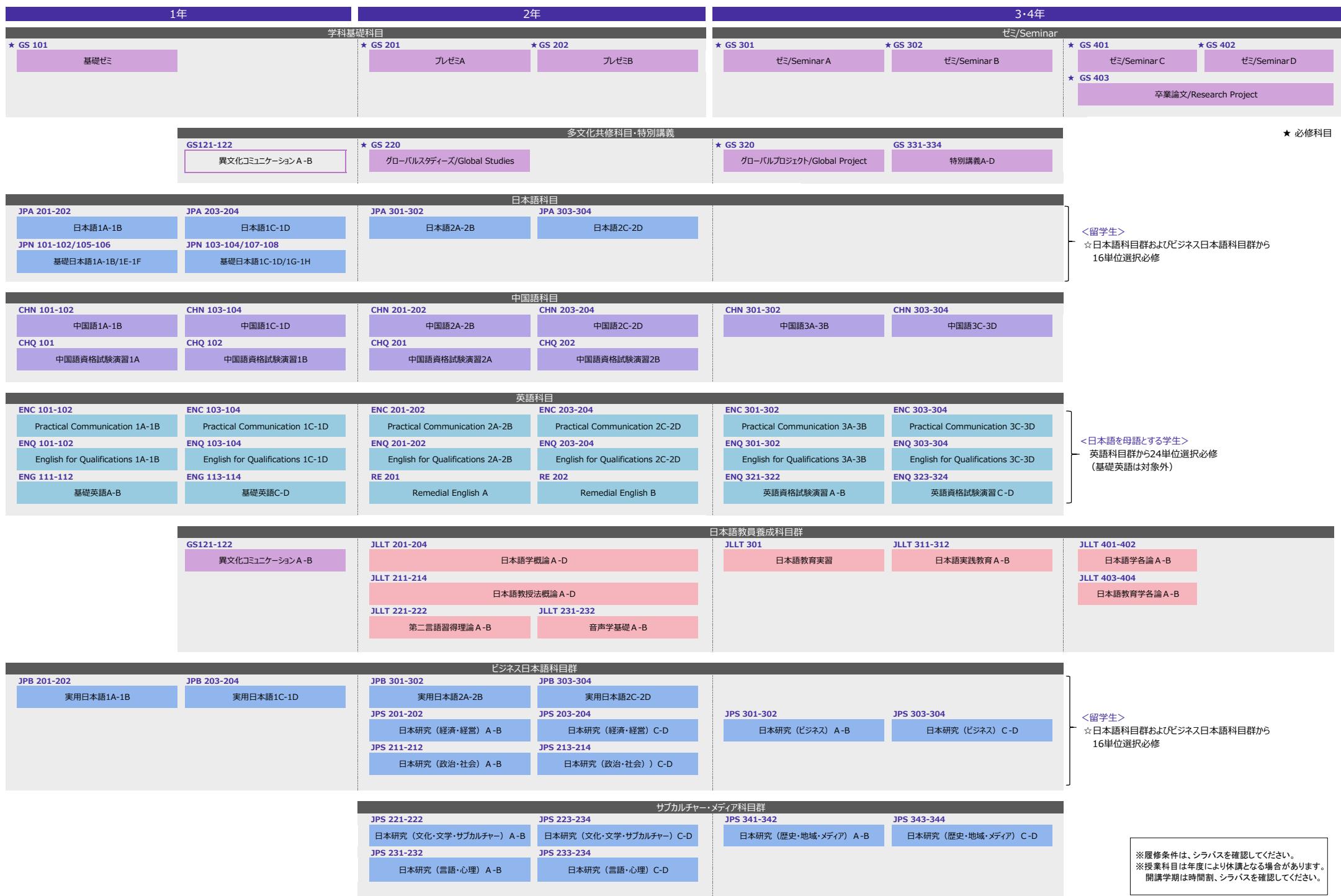
★ 必修科目

必修科目

選択必修科目

選択科目

*各科目の履修条件は開講表を参照



日本語コミュニケーション学科 -2017年度入学生-

卒業所要単位数

★進級基準科目

大区分	単位区分	科目的構成	所要単位数
武蔵野BASIS (19)	必 修 (15)	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【情報科目】 コンピュータ基礎1 [1単位] ★	1
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ★	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント (リベラル・アーツ7科) [6単位] ★ (※)	6
		【健康体育科目】 自己の探求 [1単位] 人生の歩き方を考える (キャリアデザイン) [1単位]	2
		【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
	選択必修 (4)	【発展セルフディベロップメント】 発展セルフディベロップメント [2科目4単位選択]	4
学科科目 (75)	必 修 (19)	【学科基礎科目】 基礎ゼミ [1単位] プレゼンA・B [計2単位]	3
		【学科専門科目】<ゼミ/Seminar> ゼミ/Seminar A～D [計8単位] 卒業論文/Research Project [4単位]	12
		【多文化共修科目】 グローバルスタディーズ/Global Studies [2単位] グローバルプロジェクト/Global Project [2単位]	4
		a 日本語を母語とする学生	
	選択必修 (24)	【英語科目群】 24単位以上 (自動登録科目を含む)	24
	選 択 (32)	学科科目から32単位以上 (自動登録科目を含む)	32
	b 留学生 (a以外の学生)		
	選択必修 (16)	【日本語科目群およびビジネス日本語科目群】 16単位以上 (自動登録科目を含む)	16
	選 択 (40)	学科科目から40単位以上 (自動登録科目を含む)	40
		以下の科目から30単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS (所要19単位を超えて修得した単位) ②学科科目 (所要75単位を超えて修得した単位) ③資格取得科目 (日本語教員養成課程の科目) ④武蔵野地域5大学単位互換制度による認定科目 ⑤他学部・他学科履修許可科目 ⑥成果に基づく認定科目 (「海外語学研修1～4」「資格認定Ⅰ～Ⅶ」等)	30
合 計			124

・ BASIS進級基準科目 (★) 武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

・ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

・ 履修計画を立てる際には、必ず「学修の手引き」の「履修計画」や「履修登録」を参照してください。

(※) 基礎セルフディベロップメント履修の特例

学科の定める基準により、留学生は基礎日本語などの学科科目的履修をもって「基礎セルフディベロップメント」の履修に代えることができます。
この場合、学科科目については、「基礎セルフディベロップメント」の代わりとなる6単位分とは別に、40単位以上を修得することが必要です。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【建学科目】						
BDS 101	仏教概説	1年	4			
BDS 111	共生社会	1年		2		
BDS 201	しあわせを考える	2年		2		
【健康体育科目】						
HPE 101	健康体育1	1年		1		
HPE 201	健康体育2	2年		1		
HPE 211	オリンピック文化論	2年		2		2018年度以降は「オリンピック・パラリンピック文化論」(科目名変更)
HPE 111	自己の探求	1年	1			
HPE 112	人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1年	1			
【情報科目】						
CLT 101	コンピュータ基礎1	1年	1			進級基準科目
CLT 102	コンピュータ基礎2	1年		1		
CLT 211	情報分析力1	2年		1		
CLT 212	情報分析力2	2年		1		
CLT 221	情報表現力1	2年		1		
CLT 222	情報表現力2	2年		1		
【外国語 応用】						
AL 301	English for Studying Abroad 1	1・2年		1		
AL 302	English for Studying Abroad 2	1・2年		1		
AL 311	International Lectures 1	1・2・3・4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1・2・3・4年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
＜基礎セルフディベロップメント＞						
SD 101	基礎セルフディベロップメント(リベラル・アーツ7科)	1年	6			進級基準科目 2018年度以降は「基礎セルフディベロップメント」(科目名変更)
＜発展セルフディベロップメント＞						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		2科目4単位選択必修
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探索	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
SD 231	プレゼンテーション	2年		2		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ1	1年		1		
FW 112	フィールド・スタディーズ2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ4	1年		4		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ1	1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ2	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ3	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ4	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ5	1年		6		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ（事前研究）	2年		1	◆シラバスやガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ1	2年		1		
INT 212	インターンシップ2	2年		2		
INT 213	インターンシップ3	2年		4		
INT 214	インターンシップ4	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ1	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ2	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ3	2年		8		
【副専攻（サブ・メジャー）科目群】						
SUBM 201	サブ・メジャー（ゼミナール）1	2年		2	◆「サブ・メジャー（ゼミナール）1」または「サブ・メジャー（ゼミナール）2」を履修していること	
SUBM 202	サブ・メジャー（ゼミナール）2	2年		4		
SUBM 311	サブ・メジャー（総合研究）1	3年		2		
SUBM 312	サブ・メジャー（総合研究）2	3年		4		
【寄付講座科目】						
EC 101	寄付講座1	1・2・3・4年		2	寄付講座：武蔵野市 休講 寄付講座：野村證券 休講 寄付講座：金融広報中央委員会 寄付講座：ビーエスエフ	寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論	2年		2		休講
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券
EC 203	経済教育論	2年		2		休講
EC 204	金融リテラシー（金融と人生設計）	2年		2		寄付講座：金融広報中央委員会
EC 205	未来型都市とメディア	2年		2		寄付講座：ビーエスエフ

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 * (◇推奨 ◆必須)	備考				
			必修	選択						
【言語演習科目】										
<日本語科目群>										
JPN 101	基礎日本語 1 A	1年		1	自動登録科目 (留学生。「基礎日本語」は対象者のみ)	【留学生】 日本語科目群、ビジネス日本語科目群から16単位選択必修 (自動登録科目を含む)				
JPN 102	基礎日本語 1 B	1年		1						
JPN 103	基礎日本語 1 C	1年		1						
JPN 104	基礎日本語 1 D	1年		1						
JPN 105	基礎日本語 1 E	1年		1						
JPN 106	基礎日本語 1 F	1年		1						
JPN 107	基礎日本語 1 G	1年		1						
JPN 108	基礎日本語 1 H	1年		1						
JPA 201	日本語1 A	1年		1						
JPA 202	日本語1 B	1年		1						
JPA 203	日本語1 C	1年		1						
JPA 204	日本語1 D	1年		1						
JPA 301	日本語2 A	2年		1						
JPA 302	日本語2 B	2年		1						
JPA 303	日本語2 C	2年		1						
JPA 304	日本語2 D	2年		1						
<中国語科目群>										
CHN 101	中国語1 A	1年		1	自動登録科目 (日本語を母語とする学生)					
CHN 102	中国語1 B	1年		1						
CHN 103	中国語1 C	1年		1						
CHN 104	中国語1 D	1年		1						
CHN 201	中国語2 A	2年		1						
CHN 202	中国語2 B	2年		1						
CHN 203	中国語2 C	2年		1						
CHN 204	中国語2 D	2年		1						
CHN 301	中国語3 A	3年		1						
CHN 302	中国語3 B	3年		1						
CHN 303	中国語3 C	3年		1						
CHN 304	中国語3 D	3年		1						
CHQ 101	中国語資格試験演習1 A	1年		1						
CHQ 102	中国語資格試験演習1 B	1年		1						
CHQ 201	中国語資格試験演習2 A	2年		1						
CHQ 202	中国語資格試験演習2 B	2年		1						
<英語科目群>										
ENQ 101	English for Qualifications 1 A	1年		1	自動登録科目	【日本語を母語とする学生】 24単位選択必修 (自動登録科目を含む)				
ENQ 102	English for Qualifications 1 B	1年		1						
ENQ 103	English for Qualifications 1 C	1年		1						
ENQ 104	English for Qualifications 1 D	1年		1						
ENQ 201	English for Qualifications 2 A	2年		1						
ENQ 202	English for Qualifications 2 B	2年		1						
ENQ 203	English for Qualifications 2 C	2年		1						
ENQ 204	English for Qualifications 2 D	2年		1						
ENQ 301	English for Qualifications 3 A	3年		1						
ENQ 302	English for Qualifications 3 B	3年		1						
ENQ 303	English for Qualifications 3 C	3年		1						
ENQ 304	English for Qualifications 3 D	3年		1						
ENC 101	Practical Communication 1 A	1年		1						
ENC 102	Practical Communication 1 B	1年		1						
ENC 103	Practical Communication 1 C	1年		1						
ENC 104	Practical Communication 1 D	1年		1						
ENC 201	Practical Communication 2 A	2年		1						
ENC 202	Practical Communication 2 B	2年		1						
ENC 203	Practical Communication 2 C	2年		1						
ENC 204	Practical Communication 2 D	2年		1						

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 * (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
ENC 301	Practical Communication 3A	3年		1		
ENC 302	Practical Communication 3B	3年		1		
ENC 303	Practical Communication 3C	3年		1		
ENC 304	Practical Communication 3D	3年		1		
RE 201	Remedial English A	2年		1		
RE 202	Remedial English B	2年		1		
ENQ 321	英語資格試験演習 A	3年		2		
ENQ 322	英語資格試験演習 B	3年		2		
ENQ 323	英語資格試験演習 C	3年		2		
ENQ 324	英語資格試験演習 D	3年		2		
ENG 111	基礎英語 A	1年		1	自動登録科目 (対象の留学生のみ)	
ENG 112	基礎英語 B	1年		1		
ENG 113	基礎英語 C	1年		1		
ENG 114	基礎英語 D	1年		1		
【学科基礎科目】						
GS 101	基礎ゼミ	1年	1			
GS 201	プレゼンA	2年	1			
GS 202	プレゼンB	2年	1			
【多文化共修科目】						
GS 220	グローバルスタディーズ/Global Studies	2年	2			
GS 320	グローバルプロジェクト/Global Project	3年	2			
【学科専門科目】						
<日本語教員養成科目群>						
GS 121	異文化コミュニケーションA	1年		2	自動登録科目 日本語教員養成課程の修了要件について は、資格課程履修ガイドを確認すること	
GS 122	異文化コミュニケーションB	1年		2		
JLLT 201	日本語学概論A	2年		1		
JLLT 202	日本語学概論B	2年		1		
JLLT 203	日本語学概論C	2年		1		
JLLT 204	日本語学概論D	2年		1		
JLLT 211	日本語教授法概論A	2年		1		
JLLT 212	日本語教授法概論B	2年		1		
JLLT 213	日本語教授法概論C	2年		1		
JLLT 214	日本語教授法概論D	2年		1		
JLLT 221	第二言語習得理論A	2年		2		
JLLT 222	第二言語習得理論B	2年		2		
JLLT 231	音声学基礎A	2年		2		
JLLT 232	音声学基礎B	2年		2		
JLLT 301	日本語教育実習	3年		4		
JLLT 311	日本語実践教育A	3年		2		
JLLT 312	日本語実践教育B	3年		2		
JLLT 401	日本語学各論A	4年		2		
JLLT 402	日本語学各論B	4年		2		
JLLT 403	日本語教育学各論A	4年		2		
JLLT 404	日本語教育学各論B	4年		2		
<ビジネス日本語科目群>						
JPB 201	実用日本語1A	1年		1	自動登録科目 (留学生のみ)	【留学生】 日本語科目群、ビジネス日本語科目群から16単位選択必修 (自動登録科目を含む)
JPB 202	実用日本語1B	1年		1		
JPB 203	実用日本語1C	1年		1		
JPB 204	実用日本語1D	1年		1		
JPB 301	実用日本語2A	2年		1		
JPB 302	実用日本語2B	2年		1		
JPB 303	実用日本語2C	2年		1		
JPB 304	実用日本語2D	2年		1		
JPS 201	日本研究（経済・経営）A	2年		2		
JPS 202	日本研究（経済・経営）B	2年		2		
JPS 203	日本研究（経済・経営）C	2年		2		
JPS 204	日本研究（経済・経営）D	2年		2		
JPS 211	日本研究（政治・社会）A	2年		2		
JPS 212	日本研究（政治・社会）B	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 * (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
JPS 213	日本研究（政治・社会）C	2年		2		
JPS 214	日本研究（政治・社会）D	2年		2		
JPS 301	日本研究（ビジネス）A	3年		2		
JPS 302	日本研究（ビジネス）B	3年		2		
JPS 303	日本研究（ビジネス）C	3年		2		
JPS 304	日本研究（ビジネス）D	3年		2		

<サブカルチャー・メディア科目群>

JPS 221	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A	2年		2		
JPS 222	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）B	2年		2		
JPS 223	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）C	2年		2		
JPS 224	日本研究（文化・文学・サブカルチャー）D	2年		2		
JPS 231	日本研究（言語・心理）A	2年		2		
JPS 232	日本研究（言語・心理）B	2年		2		
JPS 233	日本研究（言語・心理）C	2年		2		
JPS 234	日本研究（言語・心理）D	2年		2		
JPS 341	日本研究（歴史・地域・メディア）A	3年		2		
JPS 342	日本研究（歴史・地域・メディア）B	3年		2		
JPS 343	日本研究（歴史・地域・メディア）C	3年		2		
JPS 344	日本研究（歴史・地域・メディア）D	3年		2		

<特別講義>

GS 331	特別講義 A	3年		1		
GS 332	特別講義 B	3年		1		
GS 333	特別講義 C	3年		1		
GS 334	特別講義 D	3年		1		

<ゼミ/Seminar>

GS 301	ゼミ/Seminar A	3年	2			
GS 302	ゼミ/Seminar B	3年	2			
GS 401	ゼミ/Seminar C	4年	2			
GS 402	ゼミ/Seminar D	4年	2			
GS 403	卒業論文/Research Project	4年	4			

* 履修条件について

PRE 前提条件 例：科目B（応用編）の履修にあたり、科目A（基礎編）の履修を条件とする場合

履修条件の説明は「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

日本語コミュニケーション学科 履修モデル -2016・2017年度入学生-

★必修科目

☆履修指定科目（自動登録科目）【単位数（）は選択科目】

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		
		授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	
武蔵野BASIS	心とからだ	★ 仏教概説 健康体育 1	4 (1)	オリンピック文化論 ／ しあわせを考える 健康体育2	(2-4) (1)					
	学問のための基礎	★ コンピュータ基礎 1 コンピュータ基礎 2 ★ 日本語リテラシー	1 (1) 1	情報表現力 1 ／ 情報表現力 2 情報分析力 1 ／ 情報分析力 2 プレゼンテーション	(1-2) (1-2) (2)					
	自己理解・他者理解	★ 基礎セルフディベロップメント ★ 自己の探求 ★ 人生の歩き方を考える（キャリアデザイン） ★ フィールドスタディーズ	6 1 2 1	発展セルフディベロップメント（★2科目選択必修）						
		ホスピタリティマインド概論 ホスピタリティマインド各論 インターナシップ（事前研究）／インターナシップ		(2) (2) (2)						
	学科基礎科目 ゼミ／Seminar	★ 基礎ゼミ	1	★ プレゼンA-B	2	★ ゼミ/Seminar A-B	4	★ ゼミ/Seminar C-D ★ 卒業論文/Research Project	4 4	
	多文化共修科目			★ グローバルスタディーズ/Global Studies	2	★ グローバルプロジェクト/Global Project	2			
学科科目	言語演習科目	☆ English for Qualifications 1A-1D ☆ Practical Communication 1A-1D	4 4	☆ English for Qualifications 2A-2D ☆ Practical Communication 2A-2D	4 4	☆ English for Qualifications 3A-3D ☆ Practical Communication 3A-3D	4 4			
		【日本語を母語とする学生】 ☆ 中国語 1A-1D ☆ 中国語資格試験演習 1A-1B	4 2	☆ 中国語 2A-2D ☆ 中国語資格試験演習 2A-2B	4 2	☆ 中国語3A-3D	4			
		【留学生】 ☆ 日本語 1A-1D ☆ 実用日本語 1A-1D	4 4	☆ 日本語 2A-2D ☆ 実用日本語 2A-2D	4 4					
		モデル共通 ☆◆ 異文化コミュニケーションA-B	4	① 日本語教員養成科目 ◆ 日本語教授法概論A-D ◆ 日本語学概論A-D ■ 音声学基礎A-B ▲ 第二言語習得理論A-B	(4) (4) (4) (4)	◆ 日本語教育実習 ▲ 日本語実践教育A-B	(4) (4)	■ 日本語学各論A-B ▲ 日本語教育学各論A-B	(4) (4)	
								日本語教員養成課程 ◆必修 ■選必1 ▲選必2		
	学科専門科目	② ビジネス分野 日本研究（経済・経営）A-B / C-D 日本研究（政治・社会）A-B / C-D	(4-8) (4-8)	日本研究（ビジネス）A-B / C-D	(4-8)					
		③ メディア・サブカルチャー分野 日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A/B/C/D 日本研究（言語・心理）A-B / C-D	(4-8) (4-8)	日本研究（歴史・地域・メディア）A-B / C-D	(4-8)					
		＜履修モデル＞ 学科の推奨する履修モデルとして、①日本語教員 ②ビジネス ③メディア・サブカルチャーの3分野を想定しています。主分野を中心、自己の関心・進路に応じて科目を選択してください。 ※選択(必修)科目の必要単位数は卒業所要単位表を確認すること								
その他				他学科履修許可科目（例：経営学概論1・2、マーケティング論1・2）						
				寄付講座（例：証券ビジネス論、金融リテラシー）						
留学プログラム				海外語学研修（1年～）／認定留学・協定留学（2年～）<留学生は原則として対象外>						
CAP（履修上限単位数）			40		40		40		40	
卒業所要単位数				計124単位以上						

成果に基づく認定科目（各学科共通）

成果に基づく認定科目とは、次のいずれかに該当する場合に単位認定される科目をいいます。

- (1) 留学プログラムの学修成果について、科目読替の対象となる単位以外の単位認定
- (2) 本学で認めた単位認定対象講座の受講により、資格試験の合格によって認められる単位認定
- (3) 本学で認めたボランティア活動による単位認定
- (4) その他本学が認めた単位認定

1. 留学の認定科目（科目読替の対象となる単位以外のもの）

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせて通常で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	協定留学2	2		
	協定留学3	4		
	協定留学4	6		
	協定留学5	8		
	協定留学6	10		
	協定留学7	10		
認定（SAP）留学	認定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせて通常で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	認定留学2	2		
	認定留学3	4		
	認定留学4	6		
	認定留学5	8		
	認定留学6	10		
	認定留学7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	短期留学プログラム2	2		
	短期留学プログラム3	3		
	短期留学プログラム4	4		
	短期留学プログラム5	5		
	短期留学プログラム6	6		
	短期留学プログラム7	7		
	短期留学プログラム8	8		
	短期留学プログラム9	9		
	短期留学プログラム10	10		
短期語学研修	海外語学研修1	2	自由選択科目 ※	留学先の学修時間に応じて各語学研修について、2単位から4単位まで認定可能
	海外語学研修2	3		
	海外語学研修3	4		
	海外語学研修4	4		

2. 資格試験の合格による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定Ⅰ	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定Ⅱ	2		
	資格認定Ⅲ	2		
	資格認定Ⅳ	1		
	資格認定Ⅴ	1		
	資格認定Ⅵ	1		
	資格認定Ⅶ	1		

3. ボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間に応じて、1単位から4単位まで認定可能
	ボランティア活動2	1		
	ボランティア活動3	2		
	ボランティア活動4	2		
	ボランティア活動5	4		

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

●卒業所要単位表

○○学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目的構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修		
	選択必修		
学科科目	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※		以下の科目から○○単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ⋮	

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目的構成は学科・課程年度によって異なります。

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

＜公開年度＞

年度によって科目的休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

○○学部 XX学科 △△△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数	履修条件	備考
			必修 選択	(△推奨 ◆必須)	
ABCD 101	××基礎 1	1年	2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1	◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年	2		
ABCD 104	□□論 1	1年	1		
ABCD 201	□□論 2	2年	1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年	1	△××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年	2		
AABB 101	○△□論	1年	2		
AABB 102	□○論 1	1年	2		
GHIJ 104	△△学理論	1年	2		4科目の中から2科目選択必修
【基礎科目群】					
PJK 101	○○学理論	1年	2		
PJK 102	△○学理論	1年	2		
CDR 101	◇◇学理論	1年	2		
CDR 206	□□論 2	2年	2	◆□□論 1を履修していること	
【基幹科目群】					

＜開講年次＞

履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考することで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング（科目番号）」を確認してください。

＜科目番号（ナンバリング）＞

＜単位数＞

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

＜履修条件＞

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

＜備考＞

選択必修や休講科目の情報など、科目的補足情報が記載されています。